

# 北光

第 135 号

平成18年8月4日

「学部創立100周年記念会」設立特集号



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉾山専門学校  
秋田大学鉾山学部 同窓会  
秋田大学工学資源学部

秋田大学工学資源学部は、明治44年(1911年)に秋田鉱山専門学校として新入生を迎えて以来、平成23年(2011年)に創立100周年を迎えることとなります。

## 目 次

工学資源学部創立100周年を契機に、 新たな飛躍を目指して …… 徳 田 弘 ……	1
工学資源学部創立100周年記念について ……	吉 村 昇 …… 2
工学資源学部創立100周年記念事業 -北光会の支援- ……	菊 地 芳 朗 …… 4
「創立100周年記念会」理事会が開催される ……	5
鉱山学部の卒業生として100周年に関する思い ……	石 川 浩 次 …… 6
平成18年度北光会通常総会報告 ……	7
北光会定款新旧対照表 ……	20
特別寄稿(東北支部の台湾訪問記) ……	24
姉妹校訪問 ……	川 上 洵 …… 26
赤上陽出男名誉教授叙勲 ……	28
北から南から -支部・クラス会だより- ……	28
母校だより ……	37
会員だより ……	37
会員消息 ……	37
事務局から ……	38
計 報 ……	39
編 集 後 記 ……	40

**会費納入のご協力をお願いします：**このところ北光会会費の納入率の低下が目立っております。特に、若い会員のご協力をお願いします。

# 工学資源学部創立100周年記念事業

－北光会の支援－

会長 菊地芳朗 (GS34)



になりました。

去る6月2日、秋田大学工学資源学部創立100周年記念会理事会が行われ徳田弘秋田大学名誉教授（前秋田大学長）を会長に選任し事業がスタートしました。

事業内容としては次のことを行います。

## 1. 学術支援基金の創設

平成16年4月に法人化された各国立大学は、博士後期課程を一層充実させ、高度な教育を受けた学生を輩出するとともに、先進的な研究活動を行い社会に発信することが重要になってきています。一方、国の厳しい財政事情により国から交付される運営費交付金が年々減少しており、企業や個人からの寄付を含む外部資金を獲得して、研究教育体制を強化する必要に迫られております。これを実現させるために、①「博士後期課程学生に対する奨学金」、②「高度な研究能力を有する研究者育成のための援助基金」を、それぞれ柱とする「学術支援基金」を創設します。

## 2. 鉱業博物館の拡充・整備

創立50周年記念事業で設立された鉱業博物館は、国内外から収集された貴重な標本、模型、製品などを多数所蔵しています。本事業では、鉱工業への理解を深めるため、また、市民に親しまれる博物館を目指して、①「ビデオシアターの再編」、②「光を鉱物・岩石・化石標本類に効果的に照射した立体展

示」、③「地球の歴史および日本列島の発達史を標本と模型を駆使した展示」、④「鉱物資源の探査と採掘を機器や模型を使用した展示」、⑤「様々な鉱物資源と日常生活との関係を標本と製品を使用した展示」へと、それぞれ大規模な拡充・整備を行います。

## 3. 記念誌の発刊

秋田大学工学資源学部100年史を作成します。

## 4. 記念式典

記念講演会および記念碑建立を行います。

募金目標額は3億円であります。

これらの事業について、総会で皆様に申し述べたことを一言付け加えておきます。

学術支援基金の創設は、法人化後の大学評価の重要項目の一つに博士後期課程の充実が挙げられております。ここで社会や企業に有意義な、且つ先進的な研究を行い、優秀な人材を送り出すことが大学の将来のために必要であります。これを支援するための基金の創設であります。

鉱業博物館の拡充・整備は、最近、一般の方々や北光会員から鉱業博物館について色々ご意見を伺っております。大別しますと、一般の方々からは「岩石・鉱物等の収集が素晴らしく、びっくりしました」と云われます。更に、「展示方法にもう一工夫あれば、もっと素晴らしくなるのでは」とも云われます。

会員からは「模型等展示内容が古くなり替えてはどうか」との声があります。

鉱業博物館は創立50周年記念事業として建設されました。同窓生の力を結集し、産業界や篤志家の応援を得て設立されたもので、同窓生の誇りとするものです。途中大規模な改修を一度行い今日に至っております。

これからは、国内外から収集された多数の貴

重なる標本等を鉱工業の発展のため、また一般市民のためにどう利用していくかが大切なことでもあります。このための拡充・整備です。

北光会は、去る6月10日の総会で創立100周年記念事業について、次の事項を決議しました。

1. 本事業を全面的に支援する。
2. 募金目標額3億円のうち、会員より1億円を目標に募金を行う。そのために、卒業年次別募金目標額を設定する。(下記表参照)

寄付金額は皆様のご厚意でお決めいただくのが本来の趣旨ですが、1億円は北光会としても初めての高額でございます。大変恐縮ですが、目標達成のために卒業年次別の募金目標額を設定させていただきました。

会員の皆様におかれましては出費多端の折、誠に恐縮に存じますが、寄付期間が5年で分割払込も出来ますので、募金の趣旨にご賛同いただき本事業達成のため、ご協力をお願い申し上げます。

卒業年次別募金目標額

卒業年次	口数・募金依頼額
平成8年～平成17年	4口(20,000円)以上
昭和58年～平成7年	5口(25,000円)以上
昭和45年～昭和57年	6口(30,000円)以上
昭和44年以前	目安は設けませんが、出来れば3口(15,000円)以上

個人の場合は1口、5,000円です。

## 「創立100周年記念会」理事会が開催される －記念事業の組織が発足－

平成18年6月2日(金)、秋田市のキャッスルホテルで「秋田大学工学資源学部創立100周年記念会」の理事会が開催されました。この会には西村哲男秋田県副知事(MS41)、鳥田正彦秋田工業高等専門学校長、佐藤暢男秋田魁新報社社長をはじめ、設立準備委員会で選出された約50名の理事が参加されました。

はじめに、100周年記念会設立準備委員会委員長の吉村昇学部長からの挨拶とこれまでの経緯が述べられた後、100周年記念会の会長選出が行われ、出席者全員の賛成により徳田弘前学長が会長に選出されました。

続いて記念会の会則に基づいて、顧問に寺田典城知事、佐竹敬久秋田市長、三浦亮学長、北光会関係の狩野豊太郎元会長、秋山元雄元会長、森泰前会長ら10人が会長より委嘱されました。さらに副会長として吉村昇工学資源学部長、川上洵前工学資源学部長、菊地芳朗北光会会長、

丸山孝彦記念会企画調整委員会委員の4人と常任理事12人、監事2人が会長から指名されました。100周年記念事業として

1. 学術支援基金の創設
2. 鉱業博物館の拡充・整備
3. 記念誌の発刊
4. 記念式典の開催

の4事業と、目標金額3億円の募金活動を平成18年7月1日から5年間かけて実行することが示されました。

それらの事業を推進するため次の5委員会の設置が決まりました。

1. 企画調整委員会
2. 募金委員会
3. 記念式典実行委員会
4. 記念誌編集委員会
5. 広報委員会

これで記念会の実施体制が出来上がり、いよ